（公社）日本歯科先端技術研究所

関東・甲信越地区開催講演会

実習付き ラテラルアプローチを体験して 自分の臨床に取り入れましょう!!

日　時：2027年2月14日（日）10：00〜13：30

会　場：（公社）日本歯科先端技術研究所 事務局

講　師：遠藤 富夫先生（日先研 常任理事・学術委員長）

定　員：20名（実習形式・先着登録順）

会　費：日先研会員限定 無料



遠藤 富夫先生

略歴
横浜市青葉区 開業
1999年日本大学松戸歯学部卒業
（公社）日本口腔インプラント学会専門医
（公社）日本歯科先端技術研究所
認定医・指導医

今回は、上顎臼歯部の既存骨が少ない症例や、上顎洞に関連する合併症への対応を含め、より安全で予知性の高いインプラント治療を実践するために、クレスタルアプローチおよびラテラルアプローチの基本術式と使用マテリアルについて解説します。

診査・診断から術式の選択、そして、シンプルで効率的な外科手技（サイナスオールKit使用）にいたるまで、臨床に直結する一連の内容を、講師やスタッフとともに実習を交えながら確実に習得していただくことを目指します。特に今回は、VR（仮想現実）やAR（拡張現実）といった最新のデジタル技術を活用し、実際の臨床症例を再現した3Dモデルと術中動画を組み合わせ、より臨場感のある実習を予定しています。実際の手術を疑似体験することで、従来の講義や模型実習だけでは得られにくい、術野の理解や手術手順のイメージを深めていただけると考えています。

これからクレスタルアプローチやラテラルアプローチの導入を検討されている先生方はもちろん、臨床経験が浅い先生方、ラテラルウィンドウの形成に苦手意識をお持ちの先生方、さらには手術時間の短縮や術式の効率化を目指す先生方にも、有益でより臨床的で実践的な内容となっています。

令和6年9月の合同研修会での遠藤富夫先生のご講演「今だからこそサイナスリフトの重要性を再考する」は大変な反響を呼び、紹介された治療術式をハンズオンで学びたいとの声が多数寄せられました。
本企画は、その声を実現する形で令和7年2月、関東・甲信越地区講演会において実習付き講演会の形で実施されました。
その後も8月の近畿・北陸地区学術講演会でも好評を博し、ついにブラッシュアップされた形で、満を持して関東・甲信越地区で凱旋開催されるものです。確実な技術習得を目指す実習形式のため、定員は先着20名限定となります。
日々の臨床を高める貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

関東・甲信越地区 地区会長 大橋 功

（公社）日本歯科先端技術研究所 関東・甲信越地区開催講演会 参加申込方法

下記必要事項をご記入の上、2027年2月10日（水）までにQRコードまたは日先研ホームページより申込みをお願いします。
（https://www.nissenken.org/）

必要記入事項　① 氏名　② 所属医療機関、診療科　③ e-mail ④ 連絡先電話番号